

令和3年4月7日（水）



4名の新任者との出会いの式の後、令和3年度の第1学期始業式を行いました。校長として、次のような内容を子ども達に話しました。

3月に「修了式」「卒業式」という大きな節目を越えて、皆さんは、一つ上の学年になりました。進級おめでとうございます。そして今日から、新しい学年での生活が始まります。

皆さんの「目と耳と心」でしっかり話を聞こうとする、その立腰の姿から、「令和3年度もがんばるぞ！」という気持ちが伝わってきました。

さて、昨年3月31日に山形県で初めて、新型コロナウイルス感染症にかかった人が確認されてから、1年が過ぎました。未だに感染が収まらず、不安な気

持ちで春休みを過ごした人も多いのではないかと思います。しかし、学校で身に付けた感染を防ぐ方法をお家でも守りながら、こうして、誰一人感染することなく、またこのように、全員元気に会うことができました。校長先生をはじめ、先生方もとても嬉しい気持ちで新年度を迎えることができました。

一つだけ残念なことがあるとすれば、本来、4年生、5年生、6年生の皆さんが前の日に学校に来て準備をしてくれるはずだった入学式を、今年度は行えないということです。2年生から6年生までの21名という、昨年度より少ない人数でのスタートとなりますが、皆さん一人一人のパワーをアップして、楽しい手ノ子小学校を創り上げていきましょう。

そのために、今年度も、昨年度と同じように「あ」「い」「う」「え」「お」を一緒に頑張っていくたい、ということこれから話します。3月まで、ここ手ノ子小学校にいらっしやいました丸川校長先生から、手ノ子小学校の皆さんが、合言葉にして頑張ってきたことを教えていただきました。とても素敵な取り組みだと思い、今年度も、手ノ子小学校の合言葉にしようと思いました。「あ」「い」「う」「え」「お」については、皆さんの方がよくわかっていると思いますが、おさらいするつもりでよく聞いてください。

○「あ」は・・・「あきらめない」です。

勉強、運動、習い事等、何でもめあてをもち、それに向かってあきらめずに最後までやり続けることです。初めは上手くできなくても、失敗しても構いません。大事なものは、自分のめあてに向かってやり続けることです。

○「い」は・・・「いのちを大切に」です。

事故にあったり、病気や怪我をしたりしないように、自分の「いのち」を大切にしてください。そして、自分の家族や友達の「いのち」も同じように大切にしてください。

○「う」は・・・「美しい心」です。

友達に親切にしてもらったり、手伝ってもらったりしたら「ありがとう」、間違ってしまったら「ごめんなさい」と素直に言うことが、美しい心をもつということです。また、自分の住んでいる、手ノ子・高峰・中津川の良い所が言える人にもなってほしいと思います。

○「え」は・・・「笑顔であいさつ」です。

笑顔は、自分の気持ちをやる気、元気にさせてくれることはもちろんのこと、周りにいる人の気持ちも明るくしてくれます。また、あいさつも、周りにいる人の気持ちをつないでいく魔法の言葉です。

○「お」は・・・「思いやり」です。

自分が言われたりされたりして嫌なことは、友達も嫌なはずで、嫌なことを言われたりされたりしても、仕返しをするのではなく、その気持ちを相手に伝えましょう。相手のことを考えて、優しい言葉で話したり、行動したりできるようになってほしいと思います。

皆さんが、学校教育目標の「進んで学び ころこほしく たくましい 手ノ子小の子」に向かって、「あ・い・う・え・お」の合言葉の“かっこいい姿”を、お家の方や地域の方々に見せられるよう、校長先生をはじめ、先生方も全力で皆さんを応援していきます。一緒に頑張りましょう！

令和3年4月8日(木)



令和3年度春の交通安全県民運動が、4月6日(火)～15日(木)の10日間で実施されることを受けて、本校でも本日8日(木)～15日(木)まで、丸五商店前交差点と学校前交差点で立哨指導を行うことになりました。

午前7時50分前に校長が立哨に向かうと、中津川の子供達はスクールバスで既に学校に到着しており、玄関で元気に挨拶を交わしました。その後午前7時55分頃に荻・向原の子供達がヘルメット姿でスクールバスに乗って到着しました。間もなく八幡・町下の子供達が徒歩で通学してきましたが、保護者や地域の方が自主的に見守ってくださっていました。最後に西向の子供達が午前8時頃登校してきました。校門をくぐり駐車場に入った後も、右側を一直線でしっかりと歩くヘルメット姿が凛々しく感じられました。

平成に入るずっと以前から、児童の死亡事故をきっかけに、冬場を除き全員ヘルメットを着用して登下校していることを知りました。また、このヘルメットには、子どもたち一人一人のいのちを守りたいという、地域の皆様からの強い思いが込められており、地区の交通安全協会様や後援会様からの購入助成や業者様からの寄贈によるものだということも知りました。

今後とも、合言葉の「【い】いのちを大切に」を実践して、子供達が安全に登下校できるように指導してまいります。本日は朝の時間に第1回校外こども会を行い、5校時終了後下校指導を行います。

令和3年4月9日(金)



町の学校予算配当説明会に出席する前に、全校朝会の様子をぎりぎりまで見守りました。

第1回は生徒指導の内容ということで、担当の教諭が進めました。4・5月の重点として、

- 1 あいさつ
- 2 すすんで学校をきれいに
- 3 ろうか歩行
- 4 かぜ予防

について全校で確認しました。

について全校で確認しました。

年度当初の職員会議の場で、校長から、「学習指導は教えて考えさせる、生徒指導は考えさせて育てる指導をお願いします。」と教職員に伝えました。昨年度に比べ教員が2名減ってしまったとはいえ、21人の子ども達に対し、教職員が10名おります。目が行き届き過ぎて、どうしても先回りしてしまいたくなりますが、ここはぐっと我慢していきたいと思えます。

今日も、朝の短時間ではありましたが、タブレットと電子黒板を有効に活用し、子ども達が考え伝え合う場面を確保してくれました。

特に、生徒指導に関しては、自己指導力を育てていくために、生徒指導の3機能（自己決定、自己存在感、共感的人間関係）を活かした居場所づくりを充実させ、今年度の重点目標である「たくましさ」を育むことに努めてまいります。

令和3年4月14日（水）



令和3年度の始業式から1週間が経ちました。グラウンド手前・道路脇のソメイヨシノがようやく淡いピンク色の花を咲かせはじめ、時を合わせたように、グラウンド奥のオオヤマザクラも濃いピンク色の花を咲かせはじめました。

本日は全校朝会で学習指導を行いました。今日も、朝の短時間ではありましたが、担当教諭がタブレットと電子黒板を有効に活用し、子ども達が考え伝え合う場面を確保してくれました。

学校教育目標「進んで学び 心優しく たくましい 手ノ子小の子」の中の「進んで学び」の部分について、「しっかり聴く」「進んで発表」「友達と学び合う」という3つの学びの姿を全校で確認しました。

その中の「しっかり聴く」に関しては、漢字のつくりを用いて「耳」と「目」と「心」で聴くということのイメージ化を図るとともに、友達の意見に対して、「なるほど!」「いいね!」「正しいのかな?」「よいところは何か?」「同じところは?」「ちがうところは?」「つけたしてくわしくできないかな?」「もっとわかりやすくできないかな?」といった、考えながら聴くこと具体例を示しました。

子ども一人一人が自分事として課題に取り組み、仲間と協働的に解決しようとする探究的な学びを通して、今年度の重点目標である「考える力」（思考力・判断力・表現力、学習意欲）を育むことに努めてまいります。

令和3年4月16日（金）



本日2校時に、今年度第1回の避難訓練を、3階家庭科室からの出火を想定して行いました。

はじめに、手ノ子小の合言葉「あいうえお」の「いのちを大切に」するための学習であることを確認した後、災害から自分の命や友達そして家族の命を守るために、身に付けるべき「気付くこと」「考えること」「行動すること」の3つについて、全校で一緒に考えました。

一つ目の「気付くこと」は災害に気付くことです。今日は火災報知器による気付きでしたが、自宅など設備がない場合は、煙の臭い等から火事に気付き、「火事だ！」と大声で周囲に知らせる火事ぶれが大事だということを確認しました。

二つ目の「考えること」は、最も安全な避難経路と避難場所を考えることです。そのために、放送や先生の指示から情報を得た後に、緑色の非常口マークを探す必要があることを確認しました。本日は家庭科室からの出火を想定しましたので、火と煙からできるだけ遠いプール側の非常口から避難し、校舎からできるだけ離れた第一避難所であるグラウンドに避難しました。

三つ目の「行動すること」は、「おかしも」の約束を守ってできるだけ安全に素早く避難することです。それに加えて火災の場合は、煙に含まれる有毒ガスで脳や身体の機能が停止してしまい、逃げ遅れてしまう可能性があるため、ハンカチで口を覆ったり身を低くして煙を避ける必要があることを確認しました。

もし、自宅で火災が起きたとき、自分はどう気付き、考え、行動するのかわ、お家の人とも話し合っしてほしいということと、これからも、いろんな学習を通して、気付き、考え、行動する力を付けてほしいということを伝えました。

今後とも、学校事故が起こらぬよう危機管理体制の充実を図るべく、自然災害を想定した避難訓練や不審者対応の学習を工夫して実施してまいります。

令和3年4月20日(火)



本日は、本校の交通安全教室のために、長井警察署の方、県・町の交通安全専門指導員の方、町職員の方、そして地域の交通安全協会の方々が協力してくださいました。誠にありがとうございました。

先日の避難訓練に続き、本校の合言葉「あいうえお」の「いのちを大切に」するための学習の二つ目です。前回の避難訓練で大事なことを3つ話しましたが、今回はそのうちの一つが大きく違うということを冒頭の挨拶で子ども達と考えました。

災害の場合は、気付いてどう考えて行動するかが大事でしたが、交通事故は、危険に気付いてからでは遅く、大切な命を失ってしまう可能性があるため、「気付く」ではなく「確かめる」が大事だということを伝えました。

安全を自分の目と耳で進んで確かめて、安全かどうかを考えて行動すること、そのために交通ルールを守る必要があることを、昨年度新型コロナウイルスの影響で実施できなかったこの交通安全教室で、子ども達は体験的に学ぶことができました。

3年生から6年生までの自転車の安全な乗り方についての学習では、交通安全専門指導員の方からは、自分の力でブレーキがしっかり使えるようにお家の人に調整してもらうことが大事だということをお話いただきました。

また、手ノ子大橋交差点を往復した後、駐在所の方からは、手ノ子大橋を左折し北進する大型トラックが2～3台続く場合があるので十分気を付けることと、この地区は坂が多いので、坂を下る際ははじめから左右のブレーキを上手く操作しながら乗ることなど、「...かもしれない」と危険を予測して自転車を運転することの大切さをご指導いただきました。

子ども達からは、「自転車のブレーキのかけ方を気を付けながら乗ることができた。」

「これからも、横断歩道で後ろ前をしっかり見て横断したいと思った。」

といった振り返りがありました。

今後とも、学校事故が起こらぬよう危機管理体制の充実を図るべく、交通安全指導を徹底し安全に対する意識の高揚を図ってまいります。

令和3年4月22日（木）



教員一人一人が授業準備や教材づくり、児童の諸活動・相談等に専念できるなどの教員の教育活動を支援する学校経営活動として、今年度、日課表を工夫し、下校時刻を早めることで、放課後の教材研究や校務分掌の時間を確保しました。午前8時40分から1校時を開始するため、体力づくりの時間は定例化せず、期間を限定しての取り組みとしました。また、子ども達の自主的・創造的活動の時間確保を最優先するため、毎週火曜日の共遊の時間をロング（12:55～13:35）とすることにしました。結果的に、清掃活動の時間として位置付けられたのは、毎週木曜日の1回のみ（13:15～13:35）となりました。

先日20日（火）には、今年度第1回の縦割り班活動を行い、本日22日（木）から縦割り班清掃が始まりました。7人ずつの3つの班が、校内A・B・Cの清掃分担区域に別れるのですが、一班で3～4か所の掃除分担場所があるため、子ども達一人一人が責任を持って広い範囲を掃除しなければなりません。それでも、日頃は教職員が合間を見つけて清掃をしているため、週1回のこの時間は大変有意義だと感じました。

学校運営協議会制度（CS:コミュニティスクール）への移行により、校内外の清掃活動や図書の本の整理等に地域の方々からご協力いただくことも検討していきながら、今後とも学校教育活動の質の向上及び学校の負担軽減につなげていきたいと思いを。

令和3年4月24日（土）



コロナ禍ではありますが、感染防止対策を施しながら、本日無事に学習参観とPTA総会を実施することができました。

参加率100%で、しかもご両親で総会に参加して下さるご家庭もある中で、学校経営の概要や、教務部、指導部、事務部・渉外からの連絡を学校側からお伝えすることができました。人数が少ないからこそその良さを実感いたしました。

これまで準備して下さった旧役員の皆様、そして本日感謝状を受賞された前会長様、大変お疲れ様でした。新会長様をはじめ新役員の皆様、今年度の活動方針に添って、持続可能な活動にご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年4月28日（水）



本日、本校の第148周年創立記念式を行いました。創立記念日は5月1日なのですが、ゴールデンウィーク中ということもあり事前にお祝いをさせていただきました。なお、平成30年度に熊野昌昭教育長様はじめ、飯豊町、地域、PTAを代表する皆様にご臨席を賜り、145周年記念式典を挙げてからは、簡素化させていただき校内だけで行っております。

校長講話では、学校教育目標の「進んで学ぶ」に向かう合言葉の「【あ】あきらめない」の姿として、「よりよい自分、よりよい学校、よりよい地域、よりよい社会にするために、探究的に学び続けていくこと」が、手ノ子小学校にとって最高のプレゼントになるということ伝えました。電子黒板を活用して、「学校にある古そうなものから、学校の歴史を調べてみよう。」という課題を投げかけプレゼンテーションしました。

なお、今年度も紅白大福を購入させていただき、子ども達と職員に配りました。子ども達には、お祝いの品なので、家族の小学校時代のお話を聞きながら分け合っていたくよう話しました。